



発行責任者

堤 敏博

【校長室より】

『同窓会に支えられて』

校長 堤 敏博

卒業式の前日に同窓会入会式が行われました。本校の同窓会は、五島中学校、五島高等女学校、五島高等学校の同窓会として設立され、『石城会』と名付けられています。東京石城会、大阪石城会、長崎石城会、全国石城会（五島市開催）、定時制同窓会（五島市開催）があり、各地で活発に活動されています。

五島高校は、『石城会』から様々な支援をいただいておりますが、その一つとして、五島高校サポーター会会員による募金（五島高校サポーター基金）を部活動遠征費などの交通費や宿泊費の補助としていただいております。平成27年8月に初めて全校生徒の前で贈呈式を行い、以降年間50万円～70万円の寄付を毎年いただいております。その募金活動についての趣意書の一部を紹介します。

「頑張れよ」我が五高生
《五島高等学校サポーター会募金活動について》

五島高校で学ぶ生徒たちは、部活動や学習活動に真剣に取り組み、着々と実績を上げております。そして、県下有数の大学進学の実績によって、将来、大学に進学することを目的として、島外の高校へ進学する生徒はいなくなりました。

また、スポーツコースの設置による九州大会・全国大会出場での優れた成績などによって、島外からスポーツ留学生が集まるようになりました。

今年の高総体では陸上競技部などが目覚ましい成果を挙げました。これも、指導する教師の熱意と、生徒たちの努力、保護者の忍耐の賜物と言えます。しかし、生徒の能力を十分に伸ばすためには、対外試合を経験させることが欠かせません。そのためには、遠征費や宿泊費が必要です。（中略）

このような現状の中で、せめて「頑張る高校生たち」を何とか応援することができないか？と考えたのが「五島高等学校サポーター会募金活動」です。（中略）

昨年度は、文化部に10万円、体育部に60万8千円を補助しました。（中略）

この取組を始めて、早や6年目になりますが、さらに石城会の皆様のご理解を賜り、五島高等学校サポーター会の募金活動にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

五島高校は生徒のひたむきな努力はもちろんですが、地域、保護者、同窓会等の様々な方のご理解やご支援のお陰で現在の教育活動ができることを改めて痛感しております。皆様の熱い想いに答えられるよう教職員一同さらに頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。



マラソン大会



2月8日(金)、寒風吹きすさぶ中、校内マラソン大会を実施しました。五島市中央公園多目的広場を発着点に、男子は約10km、女子は約6kmを走り抜きました。この日のために、約2か月間体育の授業の時間を利用して持久走に取り組んできました。本番では、練習の成果をいかに発揮し、誰一人リタイアすることなく、全員が完走することができました。生徒のみなさんは、このマラソン大会で得たものを今後の人生や部活動で活かしてもらいたいと思います。また、雨天で延期となった日に豚汁の炊き出しにご協力いただいた保護者のみなさま、さらに、大会当日沿道からご声援いただいた保護者のみなさま、本当にありがとうございました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

Baramon-plan

11月7日に開催されたバラモンプラン発表会で代表になった3チーム＋五島ピザ開発チームの4チームがNPOカタリバが主催している探究学習プログラム「マイプロジェクトアワード(マイプロ)」のオンライン大会で発表をしました。こちらは九州大会に相当するもので、全国40チームの中から上位3チームが3月に行われる全国大会へ出場をする権利を得ます。どのチームも11月からアクションを重ねてワクワクする発表ができていました。



平成30年度長崎県高等学校文化連盟選抜巡回展

1月22日(火)から25日(金)までの4日間、県内、美術部・写真部・書道部の全国大会・九州大会に出品された30作品が展示されました。3年前は福江文化会館での展示でしたが、今回は本校の2階廊下(2年1組前～会議室前)で展示したので、前回よりも多くの方が鑑賞できたのではないかと思います。美術部・写真部の生徒は今回見た作品を参考にして、来年度の作品出品に向けて頑張ってください。

(美術選択生の感想)

今回各学校から集められた優秀な作品を見て、自分たちと同じくらいの年齢の人達がこんな絵・写真・書を制作できるものなのかと思いました。どの作品も個性豊かで、特に写真部門で瓊浦高校の「放課後」という作品がとても気に入りました。また、美術部門で長崎工業高校の「いためている」という作品は、作品を通して地球の環境問題を訴えていて、発想が素晴らしいと思いました。



准看護師資格試験



FIGHT!!



2月14日にメモリアルホールで、准看護師資格試験の「出陣式」を実施しました。受験する3年7組生徒27名と教職員が参加しました。式では校長先生、学年主任の原口先生、進路主任の林田智先生から激励をいただきました。その後、生徒を代表して小島ほのかさんが「将来、私たちが社会に出た際に、この3年間でいただいた多くの愛情を、今度は必要としている人に与えることができるよう、明日の准看護師資格試験全員合格を目標に頑張ってきたと思います。」と決意を表明しました。また1・2年生からは「休日も学習に励んだ先輩方なら大丈夫、応援しています。」と折鶴が贈呈され、生徒一人ひとりが本番の試験への決意を新たにしました。



生徒総会(生徒会指導部)

2月12日に1、2年生による生徒総会が行われました。この日に向けて生徒会執行部はクラスや部活動からの意見や要望を集約し準備を進めてきました。校内施設に関する要望については、高木事務長先生に話をうかがい、施設改修ができない理由や改修には優先順位があることなどを聞くことができました。当日は議長の進行により新年度予算の承認や専門委員会の報告などが行われました。また会長の中村竜也君からは、生徒数の減少にともない、来年度の生徒会予算が減額され、五高祭や体育祭の費用も減額される予定であること。減額された分を、古紙の売却金や五島市からの報奨金で補えるよう、いらなくなった紙ゴミを、ゴミ箱ではなく、古紙回収ボックスへ入れるよう、協力をお願いがありました。これから五島高校を背負っていく1、2年生が責任と自覚を持って学校生活を送っていくことを期待します。

『県高校新人駅伝大会に出場して』

2月2日に諫早で行われた県高校新人駅伝大会に出場しました。ジョセフ先生が8月に帰国してから半年、紆余曲折がありながらもこの日を迎えました。結果は男子が1時間41分46秒で20位、女子が1時間8分44秒で22位でした。今回の大会はインフルエンザ等で急なメンバー変更や区間変更がありましたが、それぞれが役割を果たしてくれました。次は高総体ですべての力を出し切るためにも、後悔のない日々を積み上げていきます。



スポーツコース百人一首大会(国語)



今年で11回目となる「スポコ百人一首大会」が1月28日(月)に行われました。この大会では、全学年のスポーツコースの生徒が一堂に会し、百人一首のチーム戦を行います。生徒たちはこの日のために、国語の授業等で練習を積んできました。試合では、覚えた和歌が詠まれるやいなや素早い動きで札を取りに行く姿が見られました。また、国語科の先生だけでなく、スポーツコースの先生方にも札を読んでもらい、会場は盛り上がりました。1・2年生も健闘しましたが、やはり3年生が強さを見せつけ、優勝を飾りました。

